NIE実践報告

1．タイトル：☆高等学校における進路指導の在り方と面接指導法

2．学校名

愛知県名古屋市立若宮商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

服部文彦

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

商業「経済活動と法」・「課題研究」　60人

6．単元（本時の学習課題）名

課題研究「調査研究等」、経済活動と法「法解釈」、秘書検定準1級指導、就職・面接対策

7．目標(狙い)

NIEと秘書教育を活用した効果的な面接指導法、新聞の有効な活用法

8．評価の視点

新聞作成、法の解釈、プレゼンを通じて就職面接対策を行い、高等学校専門高校のキャリア教育も推進していく中で、生徒自身が評価し、教員も評価することでお互い評価を確認する。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

教科単元に限定せず、日々の授業で活用、特に課題研究の指導内容（調査研究）重点に、秘書教育とキャリア教育の指導にも連動する指導法を構築した。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

☆新聞を活用した指導と秘書教育の横断的指導

「経済活動と法」、「課題研究」の授業でNIE教育を行い、理解力、伝達力の向上に努め、討論をしながら新聞を作成したりして、就職面接対策に活用した。

さらに、秘書検定準1級指導に活用し、就職対策指導にも導入した。

(1) 3年「経済活動と法」

難しい法解釈を新聞を活用して読解力、表現力等を養い授業内容である民法や商法の法解釈に役立て当事者になって物事を判断するの能力、「新聞の切り抜きプリント」を毎時間行うことで、就職面接時に最近のニュースの質問に元気良く「自分の意見がはっきり言えることで自信につながり明るく元気に行えた。」と多くの生徒が面接試験後に感想を述べてくれた。

(2) 3年「課題研究」

HAPPYな気持ちになった新聞記事とコメントを送る「HAPPYNEWS」に応募、新聞作成によるプレゼンテーション発表会を行った。生徒が自ら自己評価して自己理解をする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

日頃新聞を読まない高校生が新聞の重要性や就職対策に有効であることや秘書検定準1級対策に効果があることを就職面接で体験して合格を手にした。

12．成果と課題

「経済活動と法」では、法解釈に新聞を活用したこので事例や法解釈の点で、生徒が身近に解釈できた。

「課題研究」では、新聞を活用したプレゼンによる報告で生徒に新聞の重要性を理解、就職面接対策に新聞を活用したことで、大手企業や大学の面接が100%達成した。

さらに、秘書検定準1級6年連続合格者を排出、名古屋市内最年少排出による中日新聞に掲載され、東海地区では連続6年は第1位であり、全国的に高い合格者を排出、平成14年度には全国第1位になり、今回の6年連続で全国1位に返り咲きしたかもしれない。